

小規模多機能型ホーム めぐり サービス評価  
【2023 年度】

- ◆自己評価日 2023年 10 月 19 日
- ◆外部評価日 2023年 10 月 26 日

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月19日(13:30~14:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 岡田(博)河野、岡田都、永井、三永、上甲、篠崎、宇野、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	4人	2人	8人

前回の改善計画

・新規相談があった時は、情報の共有ができるよう管理者から職員に情報提供を行っているが、リーダーにも一緒に面談に参加してもらおう。契約が決まった時点で申し送りを行い、全職員が、新規のご利用者に対してためらいなく最善のケアが出来る環境づくりを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

事前情報は職員全員が確認できたが、職員個々によって受け取り方の違いが見られた。利用前のカンファレンス参加は管理者のみとなり、リーダー等職員の参加は難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	4	3	1	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	5	2	1	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	7	0	1	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	4	3	1	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・アセスメントシートやサマリー等で基本的な情報を理解している。
- ・申し送りで細かな情報やご利用者・ご家族のニーズを共有している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・送迎以外でご家族と関わる時間が職員にはなく、ご家族と話す機会が殆ど持てなかった。
- ・アセスメントシートの確認が手順として統一されておらず、職員全員が把握できなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・アセスメントシートを回覧することで職員間で情報を共有した上で、管理者とリーダーが職員に統一した申し送りを行うことで、職員個々での受け取りの違いがないようにする。
- ・夜勤者へは個別で申し送り、情報の統一化を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月19日(13:30~14:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 岡田(博)河野、岡田都、永井、三永、上甲、篠崎、宇野、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	2人	3人	2人	8人

前回の改善計画  
ケアマネだけが知っていることも多かったため、全員に伝えきれない部分があった。改善するために担当職員を決めたので、新規のご利用者が利用開始の時はもちろんのこと、ケアプランの変更時にもモニタリングに職員も参加することで、情報の共有に力を入れていく。主人公はご利用者なので、その人らしく生活が送れるように支援していく。そのためには、まずご利用者の想いを理解しそれをチームで共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
その場その場でのご利用者・ご家族の要望については対応することができたが、その人らしさを共有したり、ご利用者・ご家族への思いへの理解を深めることはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	2	4	2	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	5	1	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	5	1	8
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	1	2	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・毎朝の申し送りで、情報の共有を行い、目標に向かった関わりを確認している。  
・個々の職員の声掛けや情報から得た目標を共有することはできた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・ケアプランに沿って支援することができていない。  
・ケアプランの更新時に話し合いはあるが、その人の目標や関わりの具体的な部分は共有できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・ケアプラン更新前に、ミーティングでケアプランが適切なのか、追加することがあるのか、意見交換を行う。  
・特に担当職員は中心となって現状把握し、ケアマネージャーと情報共有してご利用者・ご家族の要望を明確化する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 19 日 (13:30~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 岡田(博) 河野、岡田都、永井、三永、上甲、篠崎、宇野、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	1人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者とのコミュニケーションを増やし、それぞれがご利用者を知る工夫をし、知り得た情報を気付きノートに記入したり、ミーティングで発表し、ご利用者の望む暮らし方を見つけそれに応じた支援を考えていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>気付きノートは作成したが、その時のみの記入となり、申し送りやアセスメントでの情報発信・情報収集となっている</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	4	2	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	5	1	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	4	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	6	1	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	4	3	0	8

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りを中心にご利用者とコミュニケーションをはかり、ご利用者を理解することができた。</li> <li>・入浴や食事等日常生活の支援の中で課題があるときは、多職種で意見交換や事実の確認を行い、話し合い改善することができた。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調の変化においてどのように対応するのか理解や対応が不十分だったケースがあった。</li> <li>・以前の暮らしはご本人からの聞き取りのみの方もおられ、十分な把握や理解になっていない方もいる。</li> <li>・ご利用者の基本情報はアセスメントシートでしかわからない。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎などで、ご家族から聞き取った情報は職員間で共有するように、申し送りを活用する</li> <li>・ご家族と情報交換できるように意図的なコミュニケーションを図る。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月19日(13:30～14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 岡田(博) 河野、岡田都、永井、三永、上甲、篠崎、宇野、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	2人	1人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域とのかかわりを深めるにはどんなことが出来るかをミーティング時に職員全員で考え、地域密着型サービスの役割が果たせるようになる。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>ミーティングの議題となることもあったが、十分な理解につながらず、地域密着型サービスの役割を果たすことへの理解にはつながらなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	4	2	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	2	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	1	0	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	4	3	0	8

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご本人、ご家族が大切にしている関係や生活スタイルは申し送り等で情報共有できた。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族とのコミュニケーションは送迎時がメインとなるが、自宅での様子、家族の介護状況など、職員が意識して情報を取れていない。</li> <li>地域の人とかかわる機会や話すタイミングがない。</li> <li>地域資源についての理解がない、わからない。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>特にご自宅でのご本人の様子が家族の介護状況など、ご家族と情報交換できるように意図的なコミュニケーションを図る。</li> <li>地域資源に対して、理解を深めるためにパンフレット等を活用して学習していく。また積極的に地域住民、民生委員等からの情報を得て、ご利用者がその地域で暮らし続けられるための支援を検討していく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月19日(13:30～14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 岡田(博) 河野、岡田都、永井、三永、上甲、篠崎、宇野、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	2人	1人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続きご利用者が必要としているサービスは何かを把握し、柔軟なサービスを提供する。(体調の変化で「泊り」や「訪問」に切り替えるなど。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>ご家族の希望や本人の体調等で泊まりや通いを受け入れることができた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	2	3	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	6	0	1	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	5	1	0	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	4	2	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>ご家族の希望をお聞きしたり、ご本人の体調面の不安などから、柔軟に通いや泊りの受け入れができた。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>事業所だけの関わりが多く、外部との関わりが少ない(外部のサービスを知らない)。</li><li>ご家族の希望への対応が多く、事業所から提案や必要としているサービスの確認が少ない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>新しい職員も多く、まだまだ小規模多機能型居宅介護への理解が不十分なため、ミーティング等で勉強会を行う。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月19日(13:30~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 岡田(博)河野、岡田都、永井、三永、上甲、篠崎、宇野、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	1人	5人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナも終息してきたので、運営推進会議の開催をし、地域の方との交流を深めていく。</li><li>・地域の方に訪れて頂けるようなイベントを企画する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・運営推進会議の再開はできたが、管理者のみの参加になり、チームで状況を共有できなかった。イベントは開催できなかったが、他の事業所等のイベントには対象のご利用者が参加することはできた</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	3	1	4	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	0	6	8
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	3	0	5	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	2	5	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・9月に消防署が立ち合い、消防訓練ができた。</li><li>・会議等は管理者等限られた職員は参加できた。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・運営推進会議の理解がチームで十分になかった。</li><li>・コロナ禍で、積極的な地域へのイベントへ参加していなかった。</li><li>・職員を含むチームでの参加や理解が十分でない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・運営推進会議には、職員も持ち回りで参加していく。</li><li>・公報等から情報を得て、感染対策をした上でご利用者と一緒に地域のイベントに参加していく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月19日(13:30~14:30)

7. 運営

メンバー 岡田(博)河野、岡田都、永井、三永、上甲、篠崎、宇野、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	1人	5人	8人

前回の改善計画	・運営推進会議や地域の方も参加してもらえるようなイベントを開催して地域の方からも意見がもらえる機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議で意見をもらえる機会は作られたが、イベントの開催はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	3	2	3	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	0	3	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	2	0	5	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	1	5	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ご利用者、ご家族からの苦情に対してはすぐに対応している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・意見に対しての振り返りや結果どうだったのかをチームで共有できていない。 ・地域の方と話す機会がとれていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・運営推進会議に地域の方の参加を呼びかけ、意見がもらえるような議題を提供していく。 ・ご家族が意見等を言いやすいよう、普段からコミュニケーションを密にとり、関係性を深めていく。
---------------	---



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月19日(13:30~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 岡田(博)河野、岡田都、永井、三永、上甲、篠崎、宇野、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	3人	1人	8人

前回の改善計画
・介護経験の浅い職員がいるので、実技の勉強会にも力を入れ、ノーリフト委員会を中心にご利用者にも介護者にも無理のない移乗方法などを勉強していく。参加できなかった職員に対しては個別に時間をとって研修をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・委員会の参加はできたが、現場の実技については、その場その場で検討して対応することが多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	3	2	1	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	2	4	8
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	0	8	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	4	2	2	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ヒヤリハットについては、申し送り等で共有ができ、ミーティングでも発信がある。一人一か月に一枚は記入できるように視点を持つようにしている	
・法人内研修に参加しており、ミーティング時にも勉強会の時間を持ち、持ち回りで職員が講師を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会等は限られた職員の参加になっている。	
・同じヒヤリや事故が重なることがあり、対応策の周知が不十分なところがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・同一のインシデントが出た時には、原因の追究と対処方法を速やかにチームで共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 19 日 (13 : 30 ~14 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 岡田 (博) 河野、岡田都、永井、三永、上甲、篠崎、宇野、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	3 人	2 人	0 人	8 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>不適切ケアや身体拘束・虐待防止については、問題点や気になることがあれば勉強会や委員会を通してチームで考えご利用者が安心して生活できる環境づくりを提供する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>身体拘束適正化委員会や虐待防止委員会を通して事例の共有等を行うことができた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	0	0	0	8
②	虐待は行われていない	8	0	0	0	8
③	プライバシーが守られている	6	2	0	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	1	1	1	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	3	0	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>身体拘束や虐待等は行わない理解、適切な対応ができている。</li><li>勉強会等で知識を得ている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>言葉使いがいきすぎたり、不適切な対応だったりする時がある。</li><li>成年後見制度については理解が十分ではないところがある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>虐待や、身体拘束、不適切なケアへの理解をさらに深め、職員間でも声を掛け合って確認する。</li></ul>	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？			✓
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい			✓
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？			✓
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			✓

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見改善しようと話し合ったと思う。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見3

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見項目によって同様の意見があった。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

今回の運営推進会議でも近所の方からと別の運営推進会議で外部評価の内容が理解しにくい、評価の項目が多い、年寄りには難しすぎるなどの声が上がった。交流はしたいが外部評価があるなら参加をためらう、介護保険課に相談してくれないかとの声があった。管理者研修で聞いてみると同様の声が多数上がっていると聞いた。もう少し内容を考慮し抵抗が少ない様式に変えていただいたら参加率も増えてくるのではないかと思う。管理者研修で講師の方に相談したが、それは是非介護保険の方に相談するように言われた。よろしく願い致します。

【改善計画】※後日記入

個人が積極的に意見を言える場所を設ける。  
夜勤者が意見を言える時間を設ける。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		3
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	✓		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	✓		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	✓		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	✓		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

畑でいろんな野菜が作られている。楽しそう。  
 玄関の置物（季節の花や利用者の手作りの干支の人形）が良い。  
 きれいにされている。  
 あまり中の声が聞こえない（少し入り込んでいるため様子が分かりにくい）。

【前回の改善計画】

誰が来られても元気いっぱいのお出迎えし、ご利用者が、過ごしやすい環境づくりを行う。畑に野菜や花を植えたり、水をあげたり、収穫などをしていただく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

今年はかなり掃除に力を入れ、環境作りに取り組んだ。玄関には季節にあわせた花やご利用者が手作りした人形を飾り、ご本人やご家族にも喜んでいただいた。  
 前回の改善計画である畑の手入れや収穫も、ご利用者が水やりをしたり職員と草引きをしたり収穫するのを目の前でみて実際に食し、喜んでいただくことができた。特にスイカはとても人気がありどんどんスイカが成長する様子を見て楽しんだ。「来年も植えようね」との声が多かった。昔、農家をされていた方が多く、普段は無口な方も野菜の成長についてお話しすることが多く聞かれた。

【今回の改善計画】※後日記入

事業所周辺や事業所内の清掃を定期的に行う。  
 季節を感じるようなしつらえを作る。  
 野菜作りをしたり、花を手入れして季節を感じていただく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		
1	職員はあいさつできていますか？ 3	✓		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？			✓
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？			✓
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	✓		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

保免地区の文化祭や行事に参加した。  
 ご利用手作りの人形を展示した。  
 ご近所の方への挨拶できているが、会話をしたことがない職員も多くいる。  
 事業所があることは知っているが、奥まっているため雰囲気が分かりにくい。

【前回の改善計画】

地域でされているイベントや行事を把握し、参加できそうなときは、ご利用者と一緒に参加し、地域との交流を深めていく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

今年はいろいろな行事に参加できた。一番良かったのは文化祭に参加しご利用者手作りの作品を展示したことで、ご本人やご家族の喜びを感じることができた。毎月行っている公民館のレクにも参加し楽しんでいただいた。  
 近隣の方にも積極的に話しかけ、なじみの関係を構築することができた。  
 地区の役員をされている方に運営推進に参加していただき、自分たちがまずできることから参加することとした（古紙、アルミ缶、ペットボトルのキャップ、清掃、まもる君の参加）。この取り組みで少しでも地域の収益になればと考えている。  
 事業所の前が中学生の通り道になっているためまもる君に参加させていただいた。

【改善計画】※後日記入

歩行状態の悪い方でも参加できるような行事の参加。  
 地域の方と行事参加にて交流を図ることができる。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	✓		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？		✓	
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	✓		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？		✓	

**【上記5つのチェック項目に関する意見】**  
よく散歩に行かれている姿を見る。  
この分野での関わりは分かりにくい。  
地域の文化祭に参加し作品を展示してくれた。  
出店で沢山購入していただいた。

**【前回の改善計画】**  
お一人おひとりの「～したい」の実現に向けて、個々の思いを担当職員が中心になって聞き取り、その方にあった過ごし方が提供できる。  
ご利用者が望むことを傾聴し出来る範囲で寄り添うことが出来たのではないかと。外出を望む方、家に帰りたい方、近くを散歩したい方など個々に対応できた。特に帰宅願望の強いご利用者にはご家族と連携し短時間帰宅を行い、ご希望に沿うことができた。

**【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】**  
送迎などで自宅に出向いているがその地区での交流は積極的ではなかった。  
運営推進で参加していただいた地域の役員をされている方に、近所で生活面で心配な方がいないか確認した。  
なるべく気候の良い時は外に出て気分転換やリハビリができるように積極的に声掛けをした。  
ご利用者の状態を見ながら外出できる方は公民館などのレクに参加し、外出を希望されない方は周囲を散歩したり室内で干し柿をつくったりお菓子作りなど行い、楽しむことができた。その時の様子を写真に撮り家族様にも喜んでいただいた。  
今後はご本人が住んでいる地域にも積極的に参加していきたい。

**【改善計画】※後日記入**  
地域の行事の積極的な参加。  
近所の方とのコミュニケーション。  
季節ごとの外出、イベント。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	✓		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	✓		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	✓		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	✓		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

前回の取り組みとして活動報告や事例検討を行っていた。

写真があるので内容が分かりやすかった。

災害時の避難場所や施設の構造を運営推進で再確認し一緒に取り組んだ。

災害時、お互いに何ができるかを話し合った。

【前回の改善計画】

・運営推進会議で写真付きの活動報告を作成し普段の取り組みをわかりやすくお伝えすることができる。

・事例検討を行うことで、事業所内だけでなく地域の方々と一緒にご利用者の支援方法を考えることができる。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

運営推進会議ではいろいろなご意見を聞くことができ、今までできていなかったことや気付かされることが多くあった。自分が思った以上にご近所の方は事業所に興味を持って下さっていると感じた。行事報告も喜んで見ていただき、お餅つきにも参加していただいた。繋がりを大切にしていればうれしい時も困った時も助け合える関係性を築いていけたらいいと思った。

あまり堅苦しい会議にせず思ったことを言い合えるような運営推進にしたいと思っている。

【改善計画】※後日記入

管理者以外の運営推進会議の参加及び全職員の運営推進会議の理解。

地域での困り事や心配な方の有無など運営推進会議で確認していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	✓		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？		✓	
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		✓	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？			✓

**【上記5つのチェック項目に関する意見】**  
 備蓄の確保は早急に準備することができた。  
 事業所の防災計画は分からないが今回の会議で災害時の救助方法を職員と話し合った。  
 火災時はどのルートで避難するのか徹底した。  
 事業所で防災に参加したことはない。次回は参加したい。

**【前回の改善計画】**  
 ・備蓄品については、毎月、少しずつ足りないものをそろえていく。  
 ・火災訓練以外の災害、防犯などの訓練を計画し行っていく。

**【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】**  
 火災に関しては運営推進会議終了時、地域の方と一緒に実際の避難ルートを確認し、居室の数や、位置など見て助言をいただいた。特に夜間帯の災害は職員も一人であることからご近所の方の手助けはとても有難いことだと思った。反対に相手の方が困っているときもできる範囲でお手伝いしていきたい。今後もご近所の方といい関係を築いていきたい。  
 火災訓練なども次回は声掛けして一緒に取り組んでいきたい。

**【改善計画】※後日記入**  
 防災訓練の手順の再確認。  
 地域での防災訓練の参加や事業所での火災訓練への地域の方への参加を依頼する。



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株)クロスサービス	代表者	岡部 純二	法人・事業所の 特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3軒の民家をリフォームして作られており、事業所というより我が家のような雰囲気があります。</li> <li>・リビングから見える畑には季節の野菜がすくすく育っており、四季を感じられます。</li> <li>・お食事は三食とも手作りで暖かく楽しい食事時間を提供します</li> </ul>
事業所名	小規模多機能めぐり	管理者	岡田博美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1	人	3	人	6

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	入職した職員に対しては、サービス評価について時間をかけて説明を行い、サービス評価必要性を理解して取り組めるようにする。	ミーティングの参加率は高く、サービス評価について十分に話し合う機会を設けることができた。	捉え方により評価のバラツキが見られた。意味が分かりにくい所があった。	前回の改善計画が行われていない。管理者が変わったためもう一度サービス評価の理解の周知を行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	誰が来られても元気いっぱいあいさつでお出迎えし、ご利用者が、過ごしやすい環境づくりを行う。畑に野菜や花をうえ植えたり、水をあげたり、収穫などをして頂く。	担当を決め居室や衣類のチェックなど行った。清掃も前もって日にちを決めて行った。畑では季節の野菜を植え、成長を見守ったり水やりをした。	昔、畑作業をしたことがあるご利用にとっては楽しい時間だったと思われる。これからも継続していけたら良いと思う。	職員全体で畑作業や収穫から調理にあたり、全職員が同様の喜びを感じることができる。事業所内、外の清掃の継続した徹底をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域でされているイベントや行事を把握し、参加できそうなきは、ご利用者と一緒に参加し、地域との交流を深めていく。	コロナ5類になったとともに可能な範囲での地域参加ができた。門に掲示板を設置し、事業所に興味を持っていたくようにした。餅つきに参加していただいた。	公民館での文化祭や、まもる君の家、アルミ缶や古紙の回収などいろいろ参加してもらった。これからも続けていきたい。	外出は歩行機能などもあり同じご利用に限定している。車いすの方が参加できる場所や取り組みを考える。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	おひとりおひとりの「～したい」の実現に向けて、個々の思いを担当職員が中心になって聞き取り、その方にあった過ごし方が提供できる。	上記と同様になるが、ご利用者の希望をお聞きして文化祭や買い物、他事業所への訪問など積極的に参加できた。	文化祭でご利用が作った作品を展示してもらいご本人も満足していただいたのではないかと。炊き出しも美味しいと言ってもらって作り甲斐があった。	今回は特に改善の要素はないが今後もゆっくりと傾聴する時間をもちご利用者が望むことを少しでも叶えることができるようにしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で引き続き写真付きの活動報告を作成し普段の取り組みをわかりやすくお伝えすることができる。</li> <li>・事例検討を行うことで、事業所内だけでなく地域の方々と一緒にご利用者の支援方法を考えることができる。</li> </ul>	運営推進では地域の方の参加をして頂くことが出来た。家族様は仕事もあり参加ができなかった。活動報告は前回同様に写真など活用しまとめることができた。	運営推進会議での取り組みは分かりやすく積極的に参加してもらっている。防災などは日頃のコミュニケーションが必要なので施設内を見学できてよかったです。	全職員の運営推進での参加を進めていき、職員が地域密着型の意味を理解できるようにしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄品については、毎月、少しずつ足りないものをそろえていく。</li> <li>・火災訓練以外の災害、防犯などの訓練を計画し行っていく。</li> </ul>	前回の取り組みですすでに備蓄は準備できている。火災訓練は年2回行っているが地域の方を招いての訓練はできていなかった。	実際火災がおきた時、施設内が分からなかったら助けようがないしどんな利用者がいるのか分かっていたほうが救助しやすい。	防災訓練の地域の方を招いた参加近所の方とのコミュニケーションの継続